

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	詳細点検
事務事業名	訪問入浴サービス事業	シート番号	A 一般事務事業 11-159
担当部署名	健康福祉 局 障害福祉 部 障害者支援 課	評価責任者(課長名)	増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無	
	2	事業開始年度	平成 16 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	障害者総合支援法第77条第1項第1号				
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画				
5	事業実施の経緯	国庫補助事業として行っていたものを、障害者自立支援法施行(平成18年)に伴い地域生活支援事業として位置付けられた。 平成25年4月以降は、障害者総合支援法における地域生活支援事業として実施している。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	訪問入浴サービスによらなければ入浴することができない身体障害者			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	身体障害者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等により在宅生活を支援する。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	訪問入浴受託事業者が浴槽を利用者宅へ運び入浴サービスを行う。			
	10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 特定非営利活動法人 せかんど 他			

Ⅲ. 投入量

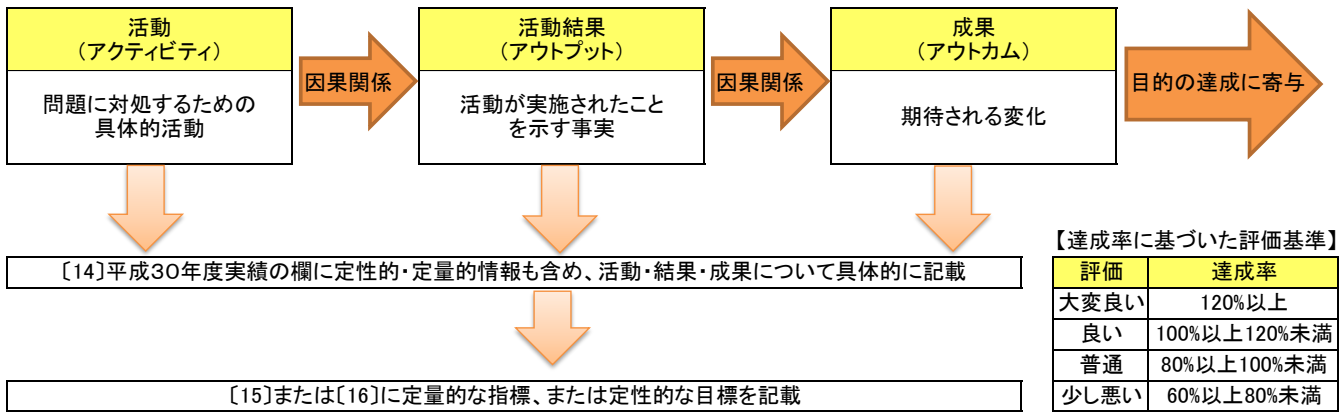
	項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	46,200	50,635	56,368	57,170	
	主な事業費内訳	委託料	千円	46,200	50,635	56,368	57,170
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(訪問入浴サービス事業本人負担金)	千円	108	202	192	192
		一般財源	千円	46,092	50,433	56,176	56,978
12	人件費 (b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,430	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	48,660	53,095	58,828	59,600	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	訪問入浴サービス事業	シート番号	11-159
-------	------------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績						
14		<p>訪問入浴サービス委託契約事業者は、前年度から2事業者増加した。延べ利用者数は48人、延べ利用回数は4,216回であり、障害のために自宅で入浴が困難な身体障害者の在宅生活の質の向上を支援した。</p> <p>【事業所数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問入浴サービス委託契約事業所数 19 ・実際に利用を確認した事業所数 16 				
15	サービス利用者数	人	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
			目標値	—	—	—
			実績値	50	48	56
			達成率	—	—	—
			評価	—	—	—
	算出方法・設定根拠など					
	延べ利用者数(目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。)					
16	利用回数	回	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
			目標値	—	—	—
			実績値	3,500	3,836	4,216
			達成率	—	—	—
			評価	—	—	—
	算出方法・設定根拠など					
	延べ利用回数(目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。)					

業績の分析

17		目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
		利用者数はほぼ横ばいで推移しており、自宅で入浴が困難な身体障害者のニーズは一定あると考えらえる。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。